

別記様式第8号(別記1の第6の1、別記2の第5、別記3の第5、別記4の第6、別記5の第6、別記8の第6の1の(1)関係)

鳥獣被害防止総合支援事業、鳥獣被害防止都道府県活動支援事業(都道府県広域捕獲活動支援事業)鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業、シカ特別対策等事業の評価報告(令和6年度報告)

岡山県

1 被害防止計画の作成数、特徴等

【瀬戸内市】
鳥獣被害防止計画は、作成数は3、令和4年度から3ヶ年計画で作成し、イノシシ、ニホンジカ、ヌートリア等を対象に被害の現状及び被害の傾向から被害の被害軽減目標を設定している。
【赤磐市】
赤磐市鳥獣被害防止計画は、令和4年度から3か年計画で作成し、イノシシ、ニホンジカ、ヌートリア、カラス等を対象に被害の現状及び被害の傾向から被害の被害軽減目標を設定している。捕獲・防護・集落ぐるみでの対策の3点から被害防止に向けた具体的な取組を講じていく。
【笠岡市】
地元の工業高校協力による安価な箱わなの制作、地域資源の活用とコスト削減を両立。
地域住民・猟友会・自治体・高校の連携体制が構築され、継続的な捕獲活動や情報共有が実施されている。
【玖波市】
鳥獣被害防止を図るため、「個体数管理(有害鳥獣の捕獲駆除)」、「被害防止(防護施設の設置)」の2点を中心に猟友会同士の連携や新たな猟友会員、農業従事者への駆除によらない被害防止の体制確立を目指している。
【里庄町】
事業実施主体は里庄町(里庄町鳥獣被害防止対策協議会)。期間は令和4年度から令和6年度まで、対象地域は町内全域とした被害防止計画を1つ作成している。
対象鳥獣は、イノシシ、ヌートリア等の12種(鳥類5種・獣類7種)とし、主に銃器、わな等による捕獲活動、被害農家等への防護柵設置の推進等を実施する。
被害が発生した場合には、当該被害農家等からの申し出により、実施隊、駆除班等が現地で被害状況等を確認し、周辺環境に応じた対策を講じるとともに、随時捕獲活動等を実施する。
【赤義町】
令和4年度から3年間を計画期間として赤義町全域を対象に作成している。 森林水産被害については、森林付近及び山間部を中心にイノシシ・ニホンジカ、果樹園や畜舎周辺ではハシブ・ガラス等による傾向となっているため、被害軽減に向け防護柵を設置し、柵を活用して捕獲の効率化を図ることとしている。
また、周辺市町村の連携した駆除活動や地域住民の被害防止意識を喚起する説明会や地区懇談会を推進する。対象鳥獣をイノシシ、ニホンジカ、カラス類を中心としてヌートリアやツキノワグサも対象としている。

2 事業効果の発現状況

【瀬戸内市】
瀬戸内市獣害対策セミナーを実施し、野生鳥獣の生態と総合的な被害防止対策方法について指導啓発を行い、農家の防護意識の向上に繋がっている。また、捕獲強化により農作物被害額は減少傾向を示している。
【赤磐市】
防護柵に因しては、令和4年度から3か年で約67kmの設置を行い、設置した地区では被害が大きく減少した。しかしながら過去に防護柵を設置したのちに点検整備が行われていない地域では被害が発生しているという現状もある。
有害鳥獣駆除に関しては、3年間でイノシシ3,758頭、シカ約1,298頭、ヌートリア7474頭、サル61頭の駆除を行っている。着実に成果を上げてはいるが、出戻回数や被害報告に変化は見られておらず、地域住民との協力体制の構築や、駆除の担い手である猟師の確保・育成も必要である。
【笠岡市】
捕獲頭数が令和3年度352頭から令和6年度817頭と増加している。
高校生による箱わな製作が地元メディアで報道され、地域内外への啓発にも寄与。
【玖波市】
「地域の体制整備」では、地域や猟友会駆除班との捕獲体制の整備を実施し、「被害防止効果」では防護柵の設置や猟友会による駆除により、被害防止や削減の効果が図られている。「捕獲状況」では、年によって捕獲頭数は増減しているが、捕獲員が減少する中、駆除頭数を概ね増加させることができた。「人材育成状況」では狩猟者の増員確保を図ることから狩猟免許の広報を行い狩猟者の増員を図った。
【里庄町】
捕獲活動は、実施隊、駆除班等を主軸としたが、設置した箱わなの日常の見回り、餌付け等については被害農家にも協力してもらう等、地域住民と捕獲者が連携しながら捕獲の体制強化を図り、一体となって被害軽減に取り組んだケースもあった。
町単独事業による農地の防護柵設置補助により、同一地点での農作物被害は減少した。
令和6年8月に、町内全域が豚熱の感染確認区域になった。なお、イノシシの捕獲頭数は、事業実施前(R3)と比較し、R5までは増加傾向であったが、事業実施後(R6)は減少した。
【赤義町】
農作物等の被害防止に向け赤義町鳥獣被害対策実施隊による駆除活動を進めてきた結果、毎年一定数のイノシシ、ニホンジカが捕獲されることにより、被害が減少し営農意欲が維持され、個体数も減少傾向にあると考えられる。

3 被害防止計画の目標達成状況

【瀬戸内市】
被害金額については達成できたが、被害面積については達成できなかった。
【赤磐市】
被害金額の目標については、令和3年度実績832万円から25%減の624万円を令和6年度目標として掲げていたが、結果的には8%増の899万円となった。
被害面積の目標については、令和3年度実績15.54 haから25%減の11.59haを令和6年度目標として掲げたが、結果的には9%増の16.92haとなった。
要因としては、イノシシやカカドの侵入を防ぐための防護柵設置はほぼ全ての集落が実施しており、防護による対策が効果を発揮していると考えられる。
また、本計画の被害金額及び被害面積は農業共済に報告のあった農場をとりまとめた統計情報であり、市全域を網羅する数値とはいえない側面もある。
次年度計画以降は、段階的に被害の状況を把握するための相対的指標の策定を検討する。
【笠岡市】
被害金額の軽減目標：90万円に軽減を目標とし、実績は83.2万円
被害面積の軽減目標：0.9haに軽減を目標とし、実績は0.65ha
【玖波市】
被害全体の被害面積及び被害額は増加しており、計画どおりの効果を得ることができなかった。今後捕獲及び防護柵の設置を強化していく。
【里庄町】
積極的な捕獲活動等により、被害金額の合計及び被害面積は、いずれも目標を上回った。
一方で、対象鳥獣によっては、単価の高い農作物が被害にあう等、被害金額が大きく減少しなかったものもあるため、引き続き捕獲と防護柵設置による対策を講じる。
【赤義町】
被害金額は目標1,100千円に対して実績1,155千円で達成率90%、被害面積については目標1.25haに対して実績4.40haで達成率-350%である。

4 各事業実施地区における被害防止計画の達成状況																				
事業実施主体名 (協議会名)	対象 地域	実施 年度	対象 鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用 開始	利用率・ 稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績						事業実施主体の評価	第三者の意見	都道府県の評価		
										被害金額		被害面積								
										前年度(千円)	前年度(千円)	実績値(千円)	(占有率)	達成率	現状値(㎡)				前年度(㎡)	実績値(㎡)
瀬戸内市鳥獣被害防止対策協議会	瀬戸内市	R4	ニホンジカ イノシシ	イノシシ・シカ用箱わな	3台	瀬戸内市鳥獣被害防止対策協議会	R5.3.21	100%	(推進事業) この導入により、従来より広範囲で安定的な捕獲が可能となり、駆除活動の労力軽減や捕獲率の向上につながった。また、捕獲率の改善は、農作物被害の軽減や地域住民の安全確保にも寄与しており、鳥獣被害対策事業全体の効果向上に大きく貢献している。	-	-	-	-	-	-	-	令和4年度から町民を対象としたセミナーを実施し、防護の重要性については一定の周知が図られたと思われる。さらに、捕獲機材の導入により実施隊員による駆除捕獲を促進した結果、捕獲頭数が増加し、積極的な捕獲が進められた。また、自治会や集落単位での取り組みの普及、セミナーの開催による被害は依然として収まる気配がなく、今後も被害防止に向けて、防護と捕獲の両面から引き続き取組を推進していく必要がある。	被害面積は増加しているものの、被害金額は大きく減少しており、捕獲支援のみならず、箱わなや止めの割しの普及、セミナーの開催を通じた防護方法の周知等、きめ細かな事業の効果が期待できていると考えられる。今後についても適切な鳥獣被害対策事業の実施を継続し、被害の減少に努めてほしい。	啓発活動や捕獲体制の整備等、毎年度、幅広い視点から被害対策に必要な取組を実施できている。被害金額の大幅な減少につながったと考えられる。	
				鳥獣被害防止セミナー・セミナー開催費 ・セミナー開催チラシ ・セミナー資料	1回	瀬戸内市鳥獣被害防止対策協議会	-	-	この取組により、鳥獣による被害の現状や防護対策の重要性についての周知を行い、地域住民の防護意識の向上につながった。また、参加者同士の情報共有や協力体制の強化にも寄与し、駆除活動や防護対策の実施率向上が期待できる。結果として、鳥獣被害対策事業全体の効果向上に貢献している。	-	-	-	-	-	-	-	一方、被害面積は増加していることがうかがえる。こうした地域に対象鳥獣が出ていることがうかがえるため、引き続き、被害状況の把握に努めるとともに、新たに被害が発生した地域で啓発活動やわなの設置等の取組を進めていただきたい。 (鳥獣対策室)			
				イノシシ・シカ用センサーカメラの導入 ・センサーカメラ ・SDカード	10台	瀬戸内市鳥獣被害防止対策協議会	R4.8.30	100%	この導入により、従来では把握が困難であった夜間や人が立ち入れない場所での鳥獣の行動を確認できるようになり、捕獲対象の特定や居設置の最適化が可能となった。その結果、駆除作業の効率化と捕獲率の向上が図られ、農作物被害の軽減や地域住民の安全確保に寄与するなど、鳥獣被害対策事業全体の効果向上に大きく貢献している。	-	-	-	-	-	-	-				
			ニホンジカ イノシシ ヌートリア カラス類 ヒヨドリ カワウ	害獣用電気止め刺し	3本	瀬戸内市鳥獣被害防止対策協議会	R5.2.14	100%	この導入により、従来より安全かつ迅速に捕獲処理を行うことが可能となり、捕獲作業の労力軽減や作業者の安全確保につながった。また、捕獲処理の安定化は、鳥獣被害の軽減や地域住民の生活環境の保全にも寄与しており、鳥獣被害対策事業全体の効果向上に大きく貢献している。	-	-	-	-	-	-	-				
				害獣用サスマタ	2本	瀬戸内市鳥獣被害防止対策協議会	R5.2.14	100%	イノシシの安全かつ効果的な捕獲を目的として、サスマタを導入した。この導入により、作業員が直接接触するリスクを大幅に軽減し、安全性を確保したまま捕獲作業を実施できるようになった。また、これらの器具を活用することで、捕獲作業の効率化や迅速化が可能となり、被害防止活動の質が向上した。結果として、農作物被害の軽減や地域住民の安全確保に寄与し、鳥獣被害対策事業全体の効果向上に大きく貢献している。	-	-	-	-	-	-	-				
				害獣用シールド盾	3枚	瀬戸内市鳥獣被害防止対策協議会	R5.2.14	100%	イノシシの安全かつ効果的な捕獲を目的として、シールド盾を導入した。この導入により、作業員が直接接触するリスクを大幅に軽減し、安全性を確保したまま捕獲作業を実施できるようになった。また、これらの器具を活用することで、捕獲作業の効率化や迅速化が可能となり、被害防止活動の質が向上した。結果として、農作物被害の軽減や地域住民の安全確保に寄与し、鳥獣被害対策事業全体の効果向上に大きく貢献している。	-	-	-	-	-	-	-				
		R5	ニホンジカ イノシシ ヌートリア カラス類 ヒヨドリ カワウ	鳥獣被害防止セミナー・セミナー資料	3回	瀬戸内市鳥獣被害防止対策協議会	-	-	この取組により、鳥獣による被害の現状や防護対策の重要性についての理解が深まり、地域住民の防護意識の向上につながった。また、参加者同士の情報共有や協力体制の強化にも寄与し、駆除活動や防護対策の実施率向上が期待できる。結果として、鳥獣被害対策事業全体の効果向上に貢献している。	-	-	-	-	-	-	-			「その他の鳥獣類」については、まずはどの鳥獣類による被害なのかを特定することが重要である。どの鳥獣類による被害なのかを把握し、その鳥獣類の特性に合わせた対策を実施することが各鳥獣類に最も適切な効果的な対策を講じるために必要となる。	
				被害調査委託	5回	瀬戸内市鳥獣被害防止対策協議会	-	-	鳥獣被害の実態を的確に把握するため、被害調査を委託して実施した。この取組により、被害箇所や被害規模、出没状況などの詳細なデータを取得でき、駆除活動や防護対策の優先順位を科学的に判断できるようになった。また、調査結果をもとにした対策計画の策定により、効率的かつ効果的な鳥獣被害防止活動が可能となり、農作物被害の軽減や地域住民の安全確保に寄与している。結果として、鳥獣被害対策事業全体の効果向上に大きく貢献している。	-	-	-	-	-	-	-			被害面積については基本的に農果共済からのデータを用いて算出していることから、市での独自の対応となると限られたものとしてしまうと思われるが、被害者への関与性の強化をはじめとする、主体的かつ積極的な情報収集を可能にしたい。被害実績の情報の精度を高めていきたい。 (瀬戸内市鳥獣被害防止対策協議会)	
				害獣用電気止め刺し	2本	瀬戸内市鳥獣被害防止対策協議会	R5.12.27	100%	この導入により、従来より安全かつ迅速に捕獲処理を行うことが可能となり、捕獲作業の労力軽減や作業者の安全確保につながった。また、捕獲処理の安定化は、鳥獣被害の軽減や地域住民の生活環境の保全にも寄与しており、鳥獣被害対策事業全体の効果向上に大きく貢献している。	-	-	-	-	-	-	-				
			ニホンジカ イノシシ	イノシシ・シカ用箱わな	3台	瀬戸内市鳥獣被害防止対策協議会	R7.3.21	100%	この導入により、従来より広範囲で安定的な捕獲が可能となり、駆除活動の労力軽減や捕獲率の向上につながった。また、捕獲率の改善は、農作物被害の軽減や地域住民の安全確保にも寄与しており、鳥獣被害対策事業全体の効果向上に大きく貢献している。	-	-	-	-	-	-	-				
				獣害対策セミナー	1回	瀬戸内市鳥獣被害防止対策協議会	-	-	この取組により、鳥獣による被害の現状や防護対策の重要性についての理解が深まり、地域住民の防護意識の向上につながった。また、参加者同士の情報共有や協力体制の強化にも寄与し、駆除活動や防護対策の実施率向上が期待できる。結果として、鳥獣被害対策事業全体の効果向上に貢献している。	-	-	-	-	-	-	-				
				被害調査委託	2回	瀬戸内市鳥獣被害防止対策協議会	-	-	鳥獣被害の実態を的確に把握するため、被害調査を委託して実施した。この取組により、被害箇所や被害規模、出没状況などの詳細なデータを取得でき、駆除活動や防護対策の優先順位を科学的に判断できるようになった。また、調査結果をもとにした対策計画の策定により、効率的かつ効果的な鳥獣被害防止活動が可能となり、農作物被害の軽減や地域住民の安全確保に寄与している。結果として、鳥獣被害対策事業全体の効果向上に大きく貢献している。	-	-	-	-	-	-	-				
瀬戸内市	瀬戸内市	R4	イノシシ	緊急捕獲活動支援事業	1,027頭	瀬戸内市	-	-	イノシシやシカなどによる被害の拡大を防ぐため、緊急捕獲支援事業を実施している。この取組により、被害が発生した地域に迅速に対応できる体制が整い、捕獲活動の効率化と捕獲率の向上が図られた。また、迅速な対応により農作物被害の拡大を防ぎ、地域住民の安全確保にも寄与している。これらの成果は、鳥獣被害対策事業全体の効果向上に大きく貢献している。	-	-	-	-	-	-	-				
				シカ	169頭	瀬戸内市	-	-	イノシシやシカなどによる被害の拡大を防ぐため、緊急捕獲支援事業を実施している。この取組により、被害が発生した地域に迅速に対応できる体制が整い、捕獲活動の効率化と捕獲率の向上が図られた。また、迅速な対応により農作物被害の拡大を防ぎ、地域住民の安全確保にも寄与している。これらの成果は、鳥獣被害対策事業全体の効果向上に大きく貢献している。	-	-	-	-	-	-	-				
		R5	イノシシ	緊急捕獲活動支援事業	692頭	瀬戸内市	-	-	イノシシやシカなどによる被害の拡大を防ぐため、緊急捕獲支援事業を実施している。この取組により、被害が発生した地域に迅速に対応できる体制が整い、捕獲活動の効率化と捕獲率の向上が図られた。また、迅速な対応により農作物被害の拡大を防ぎ、地域住民の安全確保にも寄与している。これらの成果は、鳥獣被害対策事業全体の効果向上に大きく貢献している。	-	-	-	-	-	-	-				
				シカ	135頭	瀬戸内市	-	-	イノシシやシカなどによる被害の拡大を防ぐため、緊急捕獲支援事業を実施している。この取組により、被害が発生した地域に迅速に対応できる体制が整い、捕獲活動の効率化と捕獲率の向上が図られた。また、迅速な対応により農作物被害の拡大を防ぎ、地域住民の安全確保にも寄与している。これらの成果は、鳥獣被害対策事業全体の効果向上に大きく貢献している。	-	-	-	-	-	-	-				
		R6	イノシシ	緊急捕獲活動支援事業	625頭	瀬戸内市	-	-	イノシシやシカなどによる被害の拡大を防ぐため、緊急捕獲支援事業を実施している。この取組により、被害が発生した地域に迅速に対応できる体制が整い、捕獲活動の効率化と捕獲率の向上が図られた。また、迅速な対応により農作物被害の拡大を防ぎ、地域住民の安全確保にも寄与している。これらの成果は、鳥獣被害対策事業全体の効果向上に大きく貢献している。	1,501	1,276	598	11%	401%	4.63	3.93	0.95	526%		
				シカ	111頭	瀬戸内市	-	-	イノシシやシカなどによる被害の拡大を防ぐため、緊急捕獲支援事業を実施している。この取組により、被害が発生した地域に迅速に対応できる体制が整い、捕獲活動の効率化と捕獲率の向上が図られた。また、迅速な対応により農作物被害の拡大を防ぎ、地域住民の安全確保にも寄与している。これらの成果は、鳥獣被害対策事業全体の効果向上に大きく貢献している。	-	-	93	2%	-	-	-	0.3			
				ヌートリア	0頭	瀬戸内市	-	-	イノシシやシカなどによる被害の拡大を防ぐため、緊急捕獲支援事業を実施している。この取組により、被害が発生した地域に迅速に対応できる体制が整い、捕獲活動の効率化と捕獲率の向上が図られた。また、迅速な対応により農作物被害の拡大を防ぎ、地域住民の安全確保にも寄与している。これらの成果は、鳥獣被害対策事業全体の効果向上に大きく貢献している。	15	13	0	0%	750%	0.21	0.17	0	525%		
		R6	カワウ・カモ	緊急捕獲活動支援事業	0頭	瀬戸内市	-	-	イノシシやシカなどによる被害の拡大を防ぐため、緊急捕獲支援事業を実施している。この取組により、被害が発生した地域に迅速に対応できる体制が整い、捕獲活動の効率化と捕獲率の向上が図られた。また、迅速な対応により農作物被害の拡大を防ぎ、地域住民の安全確保にも寄与している。これらの成果は、鳥獣被害対策事業全体の効果向上に大きく貢献している。	12,837	10,911	2,400	43%	542%	-	-	-	-		
				緊急捕獲活動支援事業	0頭	瀬戸内市	-	-	イノシシやシカなどによる被害の拡大を防ぐため、緊急捕獲支援事業を実施している。この取組により、被害が発生した地域に迅速に対応できる体制が整い、捕獲活動の効率化と捕獲率の向上が図られた。また、迅速な対応により農作物被害の拡大を防ぎ、地域住民の安全確保にも寄与している。これらの成果は、鳥獣被害対策事業全体の効果向上に大きく貢献している。	-	-	-	-	-	-	-	-			
		R6	合計	緊急捕獲活動支援事業	736頭	瀬戸内市	-	-	イノシシやシカなどによる被害の拡大を防ぐため、緊急捕獲支援事業を実施している。この取組により、被害が発生した地域に迅速に対応できる体制が整い、捕獲活動の効率化と捕獲率の向上が図られた。また、迅速な対応により農作物被害の拡大を防ぎ、地域住民の安全確保にも寄与している。これらの成果は、鳥獣被害対策事業全体の効果向上に大きく貢献している。	14,353	12,200	5,595	100%	407%	4.74	4.1	5.12	~38%	※被害金額及び被害面積の実績値には、その他の鳥獣類含む	

[illegible]

[illegible]

[illegible]

